

各派代表質問

2月20日～22日の本会議において、平成31年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

① 自由民主党
鎌倉市議会議員団
(森功一議員)



② 鎌倉みらい
(山田直人議員)



③ 鎌倉のヴィジョンを
考える会
(久坂くにえ議員)



④ 神奈川ネットワーク
運動・鎌倉
(保坂令子議員)



⑤ 鎌倉
夢プロジェクトの会
(高橋浩司議員)



⑥ 公明党
鎌倉市議会議員団
(納所輝次議員)



⑦ 日本共産党
鎌倉市議会議員団
(吉岡和江議員)



(代表質問順)

新年度予算に対する各会派の評価と見解

自民党鎌倉市議団

決断と実行で責任を果たす市政を

自由民主党鎌倉市議会議員団は平成31年度一般会計予算案ほか諸議案に賛成いたしました。

税金が横ばいの中、消費的経費は増加の一方です。限りある財源の中、無駄はないか、優先すべき事業に予算配分されているか、という視点で代表質問、特別委員会に臨みました。

●安定的なごみ処理行政を
平成31年度予算では生ごみ減容化や新焼却場建設についての予算計上は見送られ、今後のごみ処理について議論を深めることができませんでした。我々の会派としては、区内に焼却場を持ち、災害時などでも安定的なごみ処理体制が必要と考えます。松尾市長には将来にわたって安定的なごみ処理の方向性について早急に示すよう求めました。

●深沢地域のまちづくりについて
深沢地域での今後の取り組みを確認するとともに、防災面の課題について十分な検討を行うよう求めました。また、移転後の現在の地の活用について具体的に示すよう要望しました。

●子育て教育について
我々の会派要望により平成31年度から妊婦歯科検診がスタートします。この事業について十分な周知を図るよう求めました。また、待機児童対策とともに保育の質向上につ

いて要望しました。

●高齢者の外出支援について
高齢者の外出を促し、閉じこもりによる体力低下や認知症を予防するためにも高齢者の外出支援は重要と考えます。交通費補助など支援拡大を要望しました。

●大規模災害に備えて
大規模災害時には避難者を主体とした避難所運営体制の確立が重要と考えます。避難所運営マニュアルを市が作成し、ホームページ等で市民に広く周知を図ることを求めました。また、消防団の装備充実など、大規模災害時に救助活動する人が確実に救助できる体制の整備について要望しました。

●防犯カメラ設置補助事業について
本年度も防犯カメラ設置補助金が予算計上されており、犯罪防止の観点から、人が多く集まる場所や通学路について、市が防犯カメラを設置するよう要望しました。

●ロードプライシングについて
市内商工業者や市民生活への影響を十分見極めた上で検討を進めるべきと考えます。

●鎌倉地域漁港対策事業
鎌倉地域漁港の実現に向け、住民理解を得られるよう、丁寧な対応を求めました。

鎌倉みらい

持続可能なまちを目指し、起点とすべき予算

市民生活に直結し、市民生活を支える平成31年度鎌倉市一般会計予算ほか諸議案の全てに賛成しました。議決責任と説明責任を果たしていくため、今後は、予算執行をしっかりと監視、評価していきます。

●強みを生かす取り組みを
妊娠前から子育て期に至る子育て支援が充実してきたことを高く評価します。これと相まって女性の就業環境の改善のため保育ニーズの精度を高め、待機児童対策をさらに前進させるよう求めました。

●深沢地域整備事業について
深沢・村岡両地区の一体施行による広域的なまちづくりについて、協議会を有機的に活用し、3区市とJRとの情報共有、連携・協体制を強化し、都市計画決定手続きを粛々と進捗させるよう強く要望しました。

●新たな取り組みを積極果敢に
自治体SDGsの理念を掲げた第4期基本計画の策定に当たり、10年後を生きる若年層と市民・企業との共創による議論を深化させなければなりません。また、実効性ある計画とするため、明確な目標と証拠に基づく実現手段を示し、納得性の高い計画策定の取り組みを強く要望しました。

●持続可能なごみ処理施策を
平成31年度を「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指す起点とすべきとして、持続可能かつ安定的なごみ処理の形を示すよう求めました。

●万全たる社会実験へ
(仮称) 鎌倉ロードプライシングは、技術的側面を進め、遅れている法的側面の条件整理をしなければなりません。商工業者や近隣自治体への影響も考慮した社会実験により、ロードプライシングの実現化のロードマップを進めるよう指摘しました。

●人口減少時代の影響
本市においても、予定通りの職員採用数を確保できない事態を迎えています。限られた人材で行政運営が可能であるよう、RPAなどの推進、また人材確保の観点も含め、魅力的な人材育成方針の確立を求めました。さらに法改正に伴う外国人労働者への確実な対応を求めています。

●誰かが働ける鎌倉へ
女性、若年層への就労支援の継続とともに、今後ニーズが高まるとされる高齢者雇用促進、就労支援を求めました。また障害者二千人雇用は数値上の目標だけでなく、市の魅力を生かした新たな雇用創出となるよう求めました。また、農福、漁福連携など六次産業の確立を求めています。

●鎌倉における教育
発展的なICTの活用につなげるデジタルシブズンシップを養う教育を、また鎌倉ならではの地域資源である歴史文化交流館、史跡永福寺跡などを利用した充実した郷土教育の実施を求めました。

●(仮称) おなり子どもの家等の整備について
旧鎌倉図書館の腐朽は甚大であり、4億円以上の経費がかかることが見込まれています。経費削減とともに、子どもの安全を確保し利用しやすい施設となるよう求めました。

●安定的なごみ処理施策を
具体的な方向性を示すごみ処理関連予算が盛り込まれない異例の事態。安定的なごみ処理を強く要望しました。

ヴィジョン

市民に共感される政治を

●真の子育て支援の環境構築
乳幼児や小学生などが集う子ども会館は、子育て支援、また多世代が集える地域コミュニティ醸成の場としても重要です。岩瀬、西鎌倉など単独子ども会館を閉館する議案には反対しました。

●市民と観光客の共存
公共の場所におけるマナーの向上に関する条例については、食歩きや狭い山中での走行など条例で規定された迷惑行為について十分な周知を図り、実質的な取り組みとなるよう求めました。

●障がい児保育、支援のハブ的存在であった児童発達支援センターあおぞら園の指定管理者制度導入議案には、利用者が児童、保護者の意見が最大限尊重され、あおぞら園の在り方が再検討されるべきと考え反対しました。

さらに児童虐待が多く報道される中、各関連部署が情報を十分共有し対応を図り、また児童のみならず家庭全体への支援を行き届かせるよう求めました。

●公園長寿命化計画が策定されました。利用者のニーズを的確に捉えた遊具の設置、補修は、利用者十分な情報提供を行いながら実施すること求めました。

●(仮称) おなり子どもの家等の整備について
旧鎌倉図書館の腐朽は甚大であり、4億円以上の経費がかかることが見込まれています。経費削減とともに、子どもの安全を確保し利用しやすい施設となるよう求めました。

●安定的なごみ処理施策を
具体的な方向性を示すごみ処理関連予算が盛り込まれない異例の事態。安定的なごみ処理を強く要望しました。

●安定的なごみ処理行政を
平成31年度予算では生ごみ減容化や新焼却場建設についての予算計上は見送られ、今後のごみ処理について議論を深めることができませんでした。我々の会派としては、区内に焼却場を持ち、災害時などでも安定的なごみ処理体制が必要と考えます。松尾市長には将来にわたって安定的なごみ処理の方向性について早急に示すよう求めました。

●深沢地域のまちづくりについて
深沢地域での今後の取り組みを確認するとともに、防災面の課題について十分な検討を行うよう求めました。また、移転後の現在の地の活用について具体的に示すよう要望しました。

●子育て教育について
我々の会派要望により平成31年度から妊婦歯科検診がスタートします。この事業について十分な周知を図るよう求めました。また、待機児童対策とともに保育の質向上につ

いて要望しました。

●高齢者の外出支援について
高齢者の外出を促し、閉じこもりによる体力低下や認知症を予防するためにも高齢者の外出支援は重要と考えます。交通費補助など支援拡大を要望しました。

●大規模災害に備えて
大規模災害時には避難者を主体とした避難所運営体制の確立が重要と考えます。避難所運営マニュアルを市が作成し、ホームページ等で市民に広く周知を図ることを求めました。また、消防団の装備充実など、大規模災害時に救助活動する人が確実に救助できる体制の整備について要望しました。

●防犯カメラ設置補助事業について
本年度も防犯カメラ設置補助金が予算計上されており、犯罪防止の観点から、人が多く集まる場所や通学路について、市が防犯カメラを設置するよう要望しました。

●ロードプライシングについて
市内商工業者や市民生活への影響を十分見極めた上で検討を進めるべきと考えます。

●鎌倉地域漁港対策事業
鎌倉地域漁港の実現に向け、住民理解を得られるよう、丁寧な対応を求めました。

●安定的なごみ処理行政を
平成31年度予算では生ごみ減容化や新焼却場建設についての予算計上は見送られ、今後のごみ処理について議論を深めることができませんでした。我々の会派としては、区内に焼却場を持ち、災害時などでも安定的なごみ処理体制が必要と考えます。松尾市長には将来にわたって安定的なごみ処理の方向性について早急に示すよう求めました。

●深沢地域のまちづくりについて
深沢地域での今後の取り組みを確認するとともに、防災面の課題について十分な検討を行うよう求めました。また、移転後の現在の地の活用について具体的に示すよう要望しました。

●子育て教育について
我々の会派要望により平成31年度から妊婦歯科検診がスタートします。この事業について十分な周知を図るよう求めました。また、待機児童対策とともに保育の質向上につ

いて要望しました。

●高齢者の外出支援について
高齢者の外出を促し、閉じこもりによる体力低下や認知症を予防するためにも高齢者の外出支援は重要と考えます。交通費補助など支援拡大を要望しました。

●大規模災害に備えて
大規模災害時には避難者を主体とした避難所運営体制の確立が重要と考えます。避難所運営マニュアルを市が作成し、ホームページ等で市民に広く周知を図ることを求めました。また、消防団の装備充実など、大規模災害時に救助活動する人が確実に救助できる体制の整備について要望しました。

●防犯カメラ設置補助事業について
本年度も防犯カメラ設置補助金が予算計上されており、犯罪防止の観点から、人が多く集まる場所や通学路について、市が防犯カメラを設置するよう要望しました。

●ロードプライシングについて
市内商工業者や市民生活への影響を十分見極めた上で検討を進めるべきと考えます。

●鎌倉地域漁港対策事業
鎌倉地域漁港の実現に向け、住民理解を得られるよう、丁寧な対応を求めました。

●安定的なごみ処理行政を
平成31年度予算では生ごみ減容化や新焼却場建設についての予算計上は見送られ、今後のごみ処理について議論を深めることができませんでした。我々の会派としては、区内に焼却場を持ち、災害時などでも安定的なごみ処理体制が必要と考えます。松尾市長には将来にわたって安定的なごみ処理の方向性について早急に示すよう求めました。

●深沢地域のまちづくりについて
深沢地域での今後の取り組みを確認するとともに、防災面の課題について十分な検討を行うよう求めました。また、移転後の現在の地の活用について具体的に示すよう要望しました。

●子育て教育について
我々の会派要望により平成31年度から妊婦歯科検診がスタートします。この事業について十分な周知を図るよう求めました。また、待機児童対策とともに保育の質向上につ

いて要望しました。

●高齢者の外出支援について
高齢者の外出を促し、閉じこもりによる体力低下や認知症を予防するためにも高齢者の外出支援は重要と考えます。交通費補助など支援拡大を要望しました。

●大規模災害に備えて
大規模災害時には避難者を主体とした避難所運営体制の確立が重要と考えます。避難所運営マニュアルを市が作成し、ホームページ等で市民に広く周知を図ることを求めました。また、消防団の装備充実など、大規模災害時に救助活動する人が確実に救助できる体制の整備について要望しました。

●防犯カメラ設置補助事業について
本年度も防犯カメラ設置補助金が予算計上されており、犯罪防止の観点から、人が多く集まる場所や通学路について、市が防犯カメラを設置するよう要望しました。

●ロードプライシングについて
市内商工業者や市民生活への影響を十分見極めた上で検討を進めるべきと考えます。

●鎌倉地域漁港対策事業
鎌倉地域漁港の実現に向け、住民理解を得られるよう、丁寧な対応を求めました。

●安定的なごみ処理行政を
平成31年度予算では生ごみ減容化や新焼却場建設についての予算計上は見送られ、今後のごみ処理について議論を深めることができませんでした。我々の会派としては、区内に焼却場を持ち、災害時などでも安定的なごみ処理体制が必要と考えます。松尾市長には将来にわたって安定的なごみ処理の方向性について早急に示すよう求めました。